

# 目の健康

## 紫外線の影響で機能低下 結膜組織が角膜に侵入

眼も日焼けします。日焼け後、一時的に結膜の充血などを生じます。紫外線の影響で炎症を起こすためです。紫外線の影響が蓄積すると、白内障や黄斑変性症、翼状片など病気の原因になります。

翼状片は結膜が角膜に侵入してきたものです。角膜の周囲には結膜と分離するための細胞が並んでいます。加齢や紫外線の影響、外傷により機能が低下すると結膜組織が角膜に侵入してしまいます。

翼状片自体は失明には至りませんが、盛り上がるためゴロゴロ感や充血を起こしやすく、角膜に歪みを生じて乱視が強くなったりします。初期の場合は経過観察することもあります。目薬で治るわけ

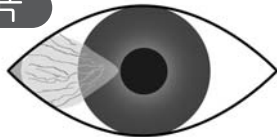
ではないため、ある程度進行したら手術が必要になります。

特に白内障手術を検討されている方は、眼内レンズの度数を決める際に角膜のカーブが大事になるので、翼状片の手術を受けた方がより正確にレンズ度数を計算できます。手術は局所麻酔で片目15分程度ですが、切り落とすだけでは再発しやすいため工夫が必要になります。

翼状片と似ているものに瞼裂斑があります。角膜には侵入しないのですが、白目にクリーム色の盛り上がりができ、充血を繰り返すものです。

紫外線の影響を防ぐには色の薄い、レンズの大きめなサングラスが有効です。

翼状片



瞼裂斑



大上 智弘 先生 プロフィール

平成14年筑波大学卒業、同附属病院眼科、虎の門病院眼科・茨城西南医療センター病院眼科科長を経て令和元年宮久保眼科副院長■専門分野／白内障・硝子体・眼瞼手術、日本眼科学会認定専門医、網膜硝子体学会、日本眼科学会会員他

